

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和5年5月24日(2023.5.24)

【国際公開番号】WO2022/260146

【出願番号】特願2022-568669(P2022-568669)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/18(2006.01)

B 3 2 B 27/00(2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/18 C

B 3 2 B 27/00 1 0 1

B 3 2 B 27/00 M

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月10日(2022.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

樹脂基板と、前記樹脂基板の表面上の防曇膜と、を備え、
前記防曇膜は、シランカップリング剤及びシランカップリング剤に由来する架橋構造からなる群より選択される少なくとも1つと、吸水性ポリマーと、ポリエーテル変性シロキサンと、炭素数2～8のジオールと、を含み、

前記シランカップリング剤は、シランカップリング剤Aと、シランカップリング剤B及びシランカップリング剤Cからなる群より選択される少なくとも1つに該当するシランカップリング剤と、を含み、

30

前記シランカップリング剤Aは、アミノ基、シリコン原子、及び前記アミノ基と前記シリコン原子とに結合した炭素数1～3の炭化水素基を有し、

前記シランカップリング剤Bは、アミノ基、シリコン原子、及び前記アミノ基と前記シリコン原子とに結合した炭素数4以上の炭化水素基を有し、

前記シランカップリング剤Cは、複数のアミノ基を有するポリマーであり、

25 の水に100時間浸漬させて前記水から取り出し、前記防曇膜から鉛直方向下方に60mm離間させて配置した90～100 の水から発生する水蒸気に前記防曇膜を30秒間曝し、前記防曇膜から前記方向下方に110mm離れて配置したQRコードの情報を前記防曇膜が形成された側とは反対側からカメラを使用して読み取ることができるかを判定する試験において、40mm四方のサイズを有するQRコードの情報を読み取ることができる、

40

防曇膜付き樹脂基板。

ここで、前記QRコードは、日本産業規格(JIS)X 0510:2018に従って、21×21モジュールのシンボルサイズ及びレベルHの誤り訂正の仕様により、前記情報として文字列「Rank:B」を符号化した二次元コードである。

【請求項2】

樹脂基板と、前記樹脂基板の表面上の防曇膜と、を備え、
前記防曇膜は、シランカップリング剤及びシランカップリング剤に由来する架橋構造からなる群より選択される少なくとも1つと、吸水性ポリマーと、ポリエーテル変性シロキサンと、炭素数2～8のジオールと、を含み、

50

前記シランカップリング剤は、シランカップリング剤 A と、シランカップリング剤 B 及びシランカップリング剤 C からなる群より選択される少なくとも 1 つに該当するシランカップリング剤と、を含み、

前記シランカップリング剤 A は、アミノ基、シリコン原子、及び前記アミノ基と前記シリコン原子とに結合した炭素数 1 ~ 3 の炭化水素基を有し、

前記シランカップリング剤 B は、アミノ基、シリコン原子、及び前記アミノ基と前記シリコン原子とに結合した炭素数 4 以上の炭化水素基を有し、

前記シランカップリング剤 C は、複数のアミノ基を有するポリマーであり、

25 の水に 100 時間浸漬させて前記水から取り出し、前記防曇膜から鉛直方向下方に 60 mm 離間させて配置した 90 ~ 100 の水から発生する水蒸気に前記防曇膜を 30 秒間曝す試験を実施したときに、前記水蒸気に曝された前記防曇膜の前記表面に透明な連続膜が形成される、

防曇膜付き樹脂基板。

【請求項 3】

樹脂基板と、前記樹脂基板の表面上の防曇膜と、を備え、

前記防曇膜は、シランカップリング剤及びシランカップリング剤に由来する架橋構造からなる群より選択される少なくとも 1 つと、吸水性ポリマーと、ポリエーテル変性シロキサンと、炭素数 2 ~ 8 のジオールと、を含み、

前記シランカップリング剤は、シランカップリング剤 A と、シランカップリング剤 B 及びシランカップリング剤 C からなる群より選択される少なくとも 1 つに該当するシランカップリング剤と、を含み、

前記シランカップリング剤 A は、アミノ基、シリコン原子、及び前記アミノ基と前記シリコン原子とに結合した炭素数 1 ~ 3 の炭化水素基を有し、

前記シランカップリング剤 B は、アミノ基、シリコン原子、及び前記アミノ基と前記シリコン原子とに結合した炭素数 4 以上の炭化水素基を有し、

前記シランカップリング剤 C は、複数のアミノ基を有するポリマーである、

防曇膜付き樹脂基板。

【請求項 4】

前記ジオールは、プロピレングリコールを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の防曇膜付き樹脂基板。

【請求項 5】

前記吸水性ポリマーは、ポリビニルアセタール樹脂を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の防曇膜付き樹脂基板。

【請求項 6】

前記防曇膜の表面上の保護シートと、

前記樹脂基板の前記防曇膜が形成されている側とは反対側の表面に形成された粘着層と、をさらに備えた、

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の防曇膜付き樹脂基板。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の防曇膜付き樹脂基板を備えた、防曇膜付き透明物品。

【請求項 8】

シランカップリング剤と、吸水性ポリマーと、ポリエーテル変性シロキサンと、炭素数 2 ~ 8 のジオールと、を含み、

前記シランカップリング剤は、シランカップリング剤 A と、シランカップリング剤 B 及びシランカップリング剤 C からなる群より選択される少なくとも 1 つに該当するシランカップリング剤と、を含み、

前記シランカップリング剤 A は、アミノ基、シリコン原子、及び前記アミノ基と前記シリコン原子とに結合した炭素数 1 ~ 3 の炭化水素基を有し、

前記シランカップリング剤 B は、アミノ基、シリコン原子、及び前記アミノ基と前記シ

10

20

30

40

50

リコン原子とに結合した炭素数 4 以上の炭化水素基を有し、
前記シランカップリング剤 C は、複数のアミノ基を有するポリマーである、
塗布液。

10

20

30

40

50